



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第23号 会報

定価：一部100円

理事長 島しづ子より	P1
定例会報告／防災について	P2
愛実友だちの家のページ	P3～4
大地の家のページ	P5～6
紙風船のページ	P7～10
「思い出に守られて生きる」／南 寿樹	P11
寄付者名簿	P12

Merry Christmas!



大地の家＊横浜遠足☆



紙風船＊大須散策♪



愛実友だちの家＊Trick or Treat!



クリスマスおめでとうございます！

理事長 島しづ子

この季節には次の讃美歌を口ずさみます。

「世界ではじめのクリスマスは ユダヤの田舎のベツレヘム
宿にも泊まれず家畜小屋で マリアとヨセフの二人だけ
赤子のイエス様 草の産着（うぶぎ） 揺りかご代わりにの飼い葉桶
やさしい笑顔に見守られて 恵みの光が照らすだけ
グローリア グローリア グローリア グローリア イン エクセルシス デーオ」

この歌は街の華やかなクリスマスとは違って、クリスマスの本質を表現していると思います。この讃美歌が語るのは、イエスがあまり歓迎されないで生まれ、お祝いに駆けつけた人々も世の中からはあまり重んじられなかった人々だったということです。

クリスマスには悲しい思い出もあります。私たちには心からクリスマスをお祝いできない時もあるのではないのでしょうか。皆が喜んでいのに、喜べない。悲しい出来事や将来への不安やどうしたら歩みだせるかわからない時でもあります。私はクリスマスのたびにこの一年に家族や親しい友人を亡くした人を思います。一緒にクリスマスを祝いたい、でも「おめでとう！」って声をかけにくい。そんな時、「あなたは一人ぼっちじゃないよ！私もいるよ、何よりもイエス様もそうだったよ！」って語り掛けたいです。

今年もメンバーや御家族にとって困難が多い一年でしたが、嬉しいこともたくさんありました。デイケアでは活発な活動が行われ、楽しい体験をして頂きました。支えて下さった皆さま、メンバー、アシスタントに心から感謝致します。今年もメンバーたちは心身の不自由さを忍耐して生き、喜びや楽しいことにすばらしい笑顔で答えてくれました。実に良く働いてくれました。命がけで息し、食し、排泄しているのですから。

エゼキエル書 34 章に神が「イスラエルの牧者・王」に対して非難する言葉があります。4 節「お前たちは弱いものを強めず、病めるものをいやさず、傷ついたものを包んでやらなかった。」(だから) 16 節「わたしは(神) 失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。」この言葉の中に王たる者の役目は支配ではなく、共同体の中の弱くされたものをこそ守るべきことと預言者が認識していたことがわかります。画家ベン・シャーンがこう記しています。「いかなる国によるにせよ、あらゆる原子兵器の実験に断固として反対です。この感情は、地球が、結局はそのうえに住むあらゆる人々のものである、ということなのです。したがって、どんな人間も、またどんな人間のグループも、地球のどの部分にせよ、それを生存不能の場にする権利をもっていません。一中略一わたしは個人の神聖と優越を信じ、また人間のうちの最下層のものの生命と安全が、もっとも偉大で重要な人間のそれと同等な価値をもつものであることを信じます。(「世界名画全集 続編 16 平凡社 1962年所収」1962年4月20日) この思想は普遍的な真理ではないのでしょうか。これからも知恵を出しあい助け合って歩みたいものです。

皆さま、今年もありがとうございました。お健やかによき新年をお迎え下さい。

◆ 2012年度第1・2回定例会報告 ◆

5周年記念イベントを終えて、更に愛実の会の将来の展望について考える場として、今年度定例会が9月29日(土)と11月24日(土)の2回開催されました。

報告 愛実の会の現状～将来へ

会計状況としては、補助金カットや給付金等の単価変更により経営面での不安がありましたが、上半期は予算をやや上回るペースで来ています。要因は生活介護のサービス提供が伸びていることから、現場アシスタントの頑張りが大きいと思われます。

一方、居宅介護については、以前から課題とされてきましたが、通所のためのホームヘルプ必須のケースやメンバーの障がいの重度化、親の高齢化、それに伴う緊急時対応等、生活介護を継続利用していくためのサービスの必要性の声が出されています。また、ショートステイやケアホームなど将来への課題は大きく、愛実の会の生活介護中心の仕組み(人の動き)からは現状のキープで手いっぱいであり、すべてのニーズに対応していくことはとても困難であります。様々な制度及びメンバーを支えるネットワークと連携をしながら、愛実の会として今後の取り組むべき課題を明確にして行くことを確認しました。次回定例会3月

その他、定例会より新年会について例年通り成人の祝いと合わせて開催することが決定しました。年始にみんなが集まる大切な機会として今後も実施していきます。

日時：2013年1月31日(木) 於、フレンチレストランエルダンジュ

◆ 防災の取り組みについて ◆

NPO愛実の会への常日頃のご支援、お力添えをいただき、感謝申し上げます。防災用品も、おかげさまで徐々に揃えさせていただいております。各部署にヘルメットや備蓄水等の非常持出品を常備し、共用の持ち出し品(救急用具、非常食、発電機等)も少しずつ揃えることが出来ました。

防災訓練では、9月に港消防署員をお招きして、東南海地震と津波の最新の知見や、応急担架を用いた搬送法の講習を受けました。この講習会を受けて、大津波警報が出た際に避難する場所として、隣のマンションだけでなく他の場所へも避難できるよう、柔軟に考えようと検討しています。

緊急地震速報が出た際に、どのように行動するかを、デイ開催中や送迎中などの想定場面ごとに策定してきましたが、まだ机上の計画に過ぎません。できれば、実際にメンバーとともに避難訓練を行いたいと考えていますが、これを今後の課題としております。

まだまだ不備な点も多々ありますが、皆様のご協力の元、解決していきたいと考えています。今後とも皆様の応援をお願いいたします。

愛実友だちの家のページ

(P3~4)

いつまでも暑いと思っていたら急に冷え込み、冬を感じさせる寒い日が続きますね。なかなか外に出られなくなってしまう季節の到来に少し気落ちしてしまいましたが、部屋の中でも変わらずみんなと楽しく過ごしていきたいと思います。今回はまだ暖かいうちに満喫してきた外出の様子を中心にをご紹介します。

南知多に遠足に行きました

毎年メンバーもアシスタントも楽しみにしている遠足。雨が多いと噂されているあみともの外出ですが、遠足当日は見事な快晴！いつもより少し早い時間に出発して、最初の目的地である南知多ビーチランドを目指します。「ふれあい体験型水族館」というキャッチコピーのとおり、海の生き物と触れ合ったり、間近で見たり出来ると聞き、メンバーもアシスタントも期待大。到着してすぐ、まずはアシカ&イルカショーを観覧することに。何人かのメンバーは最前列の「びしょ濡れシート」に着席し開幕を待ちます。最初にステージに登場したのはアシカ。客席の階段を上って挨拶に来てくれるサービスもあり、メンバーもすぐ目の前で鳴くアシカの迫力にビックリした様子でした。そしてプールを華麗に泳ぐイルカの見事な芸に一同うっとり。着替えが要るほど水しぶきをかけられてしまったメンバーもいましたが、イルカのダイナミックな動きを身体で感じる事が出来た…かな？

ショーの後はふれあい体験へ。タッチ体験や餌やりなど、様々なプログラムをそれぞれ自由に回って楽しみました。中には昔からの夢だったイルカにタッチをしたメンバーもいて、念願叶い満足気なご様子でした。よちよち歩く「ペンギンのお散歩」の時間には、メンバーだけでなくアシスタントもメロメロになる人続出でした。

めいっぱい楽しんだところで、お次はお待ちかねバーベキューランチ。手伝いに来てくれたドライバーさんを中心にひたすら肉を焼いていきます。余談ですが、バーベキューサイトには砂利が敷き詰められていて、車椅子を押してもタイヤが沈むばかりでなかなか進まず…。すっかり疲れてしまったアシスタント勢には、余計に美味しく感じられたお昼ご飯でした。肉食系のあみともメンバーももちろん美味しくペロリ。シメには焼きそばまでたいらげ大満足のボリュームでした。

腹ごしらえを終えたら、次の目的地美浜えびせんべいの里へ向かいます。ここでのお目当てはせんべい焼き体験。プレス機で焼いた顔ほどもある大きなえびせんべいに、しょうゆとソースで自由に絵付けし乾燥させたら出来上がり。世界にひとつ、自分だけのオリジナルえびせんべいに、メンバーも「帰ったら自慢するんだー」とばかりに嬉しそうでした。

年に一度の遠足は、普段のお出かけより大変なこともあります。ふとこぼれるメンバーの笑顔に疲れも吹き飛んでしまいます。来年はどこに行こうか、と今から楽しみです。



芋堀遠足

毎年秋になると瀬戸にある畑にお邪魔して、芋掘り体験をさせていただいています。車椅子のメンバーにとって土に触れることはあまりないので、いい機会を与えていただけてことがとても嬉しいです。毎年快く受け入れてくださっているKさん、Iさんありがとうございます！刈谷PAで早めのランチをすませ、いざ芋畑へ。何度も体験させていただいているおかげか、お芋好きのメンバーは畑に着いた途端ニコニコ。ブルーシートから身を持ち出して一生懸命収穫します。土の臭いや感触を感じながら、大きなお芋を引っ張りだして、自慢げな表情のメンバーたちでした。例年は美味しいさつまいもと里芋を山ほどお土産にもらっていくのですが、今年は残念ながらイノシシに先を越されてしまったようで、控えめな収穫量となりました。また来年、ぜひリベンジ芋掘りをさせていただきますね！



今年の園芸は…

春頃の会報で、いくつか苗を植えたときの様子をお伝えしました。その後は一体どうなったかというところ…。

残念ながら春に植えたキュウリ、いんげん、かぼちゃは全滅してしまいました。病気にかかってしまったり、そもそも芽が出なかったり、と残念な結果。ミニトマトが少し実をつけてくれたのが救いでしたが、昨年ほど豊作、というわけにはいかず…。

それでもあきらめられないあみとも一同、それならば、とゴーヤ&オクラを植え付け。ゴーヤは見事に成長し、あみとも大きな窓の緑のカーテンになってくれました。実もいくつかついていたので、熟して黄色くなったところを収穫。完熟ゴーヤは甘いらしい、という噂を聞いていたので、メンバーと一緒にわくわくしながら味見しました。が、やっぱり苦いものは苦くて、渋い表情のメンバーたちでした。オクラはゆっくり成長していき、旬を過ぎて忘れた頃に少しずつ実ってくれました。昼食の味噌汁に入れて、収穫の喜びを噛みしめながら味わいました。

現在は園芸冬編、ということで、ミニにんじんやサニーレタス、葉牡丹を育てています。葉牡丹はうまくいけば門松作りに使いたいな、と皮算用しているので、順調な成長を祈るばかりです。



日々の様子を綴ったブログ更新中です★
<http://amitomo07.blog.fc2.com/>



QRコード

食欲の秋、芸術の秋、大地の秋！

(P5~6)



大地の家のページ

暑かった夏も過ぎ、最近急に寒くなってきました。体調管理の難しい季節、体調を崩される方もみえるのではないのでしょうか……。大地の家でも、メンバー&アシスタント自身の健康に気を配りつつ、楽しいお出かけやイベントを行いました！

秋のバーベキューや、一年最大のイベント「横浜遠足」や……。

食に芸術に大忙しの大地の家をお届けいたします。

Trick or Treat?

秋のバーベキュー大会

10/31

ハロウィンパーティ。
みんな仮装しました♪

大地の家は、今秋も戸田川公園でバーベキューを楽しみました。定番となりつつある活動ですが、今年は「スモークベーコン」に初挑戦！（ちなみに前は手作りウイナー初挑戦でした！）組み立て式の専用スモーカーで燻して出来た、厚切りのベーコンにメンバーもアシスタントもメロメロ♥

バーベキューの始まりにはノンアルコールビール&カクテルで乾杯。飲んでいる間にも、焼き上がるのを今か今かと待ち遠しくしている人も……。ベーコンのほかにも豚肉に鶏肉、ウイナー、野菜ホイル焼き、などなど。ボリューム満点のメニューにも関わらず、皿に盛られた端から消えていくお肉たち。そしてあっという間に完食！

秋空の下、天気にも恵まれた大地のバーベキュー大会。協力して下さった専属焼き奉行の方もありがとうございました。

では次回もお楽しみに！



朝日プリンテック



普段、読み物の中でも目にする機会の多い新聞ですが、どのような過程を経てお茶の間に届くのか……。その疑問に答えるべく朝日新聞の印刷場「朝日プリンテック」に見学へ行ってきました。

最初に私達メンバー&アシスタントを出迎えたのは、巨大エレベーター！大きな荷物を運ぶためのエレベーターで、メンバー7人（車椅子含む）+介助者7人の合計14人が一度に移動出来る広さでした。

いよいよ製作現場……。！辺りには紙とインクの匂いが漂います。案内をして下さった職員さんの分かりやすい説明に、一同「へえー」と感心していました。出来たての新聞も触らせてもらい、まだ温かく湿った感触にメンバーも不思議そうな顔。

ちなみに……。帰り際にもらった「特製新聞」にはさっそく今日見学に来たことが書かれていました！全員の集合写真が見出しになっていて感動しました♪

横浜遠足

待ちに待った、年に一度の遠足！去年は西の都、京都へ行ってきましたが、今年は東の大繁華街で有名な横浜でした。日本列島を西へ東へ渡り歩く「大地の家・珍道中」どうぞご覧ください。

去年に引き続き、移動方法は新幹線……。メンバーもアシスタントも手慣れたもので、新幹線のホームに整然と並ぶ様子はまさに熟練の成せる業。

車内では、みんなで横浜の話で盛り上がり、朝早い時間ということで副主任が全員分用意してくれた軽食のドーナツをたべたり……。あっという間の1時間半でした。

そんなこんなで横浜に到着。そこからも電車で乗り継ぎ（これも去年の経験から何の問題もなく乗り込みに成功。みんなベテランさんです）、いざ横浜遠足へ！

ランドマークタワー

桜木町を出ると目の前にはランドマークタワー。エレベーターで一気に登り、展望フロアからは高さ273M、地上69階から見える、大絶景パノラマ。あまりの高さに一同びっくり。吸い込まれそうな高さから横浜を一望、眼下に映る高層ビルや海を思う存分楽しみました。



カップラーメン博物館

チキンラーメンでおなじみ、日清食品のヌードル博物館。館内では、歴代のインスタント麺やカップ麺がスラリ。懐かしい商品を前に「前はこんな麺もあったよね～」と話しながら見て歩きました。

近代アート風に展示されたカップヌードルのオブジェクトや偉人の像などもあり、楽しい時間を過ごしました♪



横浜中華街

腹ごしらえは、横浜中華街にある「同發（別館）」という本格中華のお店です。くるくる回る円卓の上に乗る、豪華な中華料理の数々……。味もボリュームも価格も文句なしの内容で、お腹がベコベコなメンバー&アシスタントはあっという間にモリモリと食べてしまいました。



シーバス

旅の最後を飾るのは、横浜の海を遊覧するシーバスです。跳びはねる魚や海に沈む夕日を見ながら、遠足の終わりを名残惜しみみます……。

メンバーを始めとして一緒に同行して下さった保護者の方のご協力あつての遠足でした。ありがとうございます！



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ (P7~10)

2012年も残すところあとわずかとなりました。残りの公演も一つひとつを大切に心に残る公演をしていこうと話しています。そんな中新たな取り組みが始まろうとしていますので、ご紹介していきたいと思います。

作品「ポーちゃん」のリメイク決定！

紙風船では、今の作品に至るまでにたくさんの作品と出会ってきました。養護学校時代に人形劇を始めた当初はブラックライトによる「はらぺこあおむし」、その後メンバーが舞台上に堂々と出て演じていこうという事で『出づかい』という形で演じる作品「ポーちゃん」が完成しました。そしてこの17年の間に「モコちゃん」や「みんなともだち」「世界に一つだけの花」そして今行っている3つの新作などたくさんの作品と出会ってきました。けれど、いくつもの作品を同時に演じていける体制を作っていく事は、人手や練習量を考えるとなかなか難しく、新しい作品を作っていくにつれて、当初紙風船の看板作品だった「ポーちゃん」を公演する機会がなくなっていました。

そんな中、最近紙風船では新作と合わせて前座等を行い、1時間のプログラムが作れないだろうかという事を考え始めました。

そこで、思いついたのがあの懐かしい「ポーちゃん」のリメイクでした。もともと50分の作品を20分くらいにリメイクし新作と組み合わせるという案です。

ただ新しいメンバーも加わり、アシスタントも「ポーちゃん」の作品に関わったことがあるのはわずか2人だけ。一からのスタートとなります。

けれど「ポーちゃん」の話をするメンバー達の表情はとても生き生きしていて嬉しそう。昔から「ポーちゃん」に関わっているメンバーはまだ演じていく事ができる喜び、新しいメンバー達はワクワクした表情を浮かべていたのがとても印象的です。

まだまだ、始まったばかりのリメイク話です。まずは台本の手直し、そして配役決め、また人形や小道具等もかなり年季が入っているため、新たな制作も必要になってきそうです。どんな作品にしていけるか、期待と不安でいっぱいですが、みんなと試行錯誤しながらみなさんに楽しんで頂ける作品を作っていきたいと思います。



紙風船夢づくり基金のお願い

いつも「紙風船夢づくり基金」へのご支援ありがとうございます。
今回作品「ポーちゃん」をリメイクしていくにあたり、道具等の制作に費用が必要となります。私たちの活動にご賛同いただける方は寄付のご協力をよろしくお願いいたします。なおその際は、振り込み用紙へ「紙風船夢づくり」と一言明記をお願いいたします。

サークル活動行っています！

4月より紙風船では月に一度のサークル活動を行ってきました。それぞれのサークルで個性豊かな活動を行っているのでご紹介したいと思います。

音楽サークル

「音楽サークル」では紙風船バンドを結成しました！紙風船のテーマソング「風を下さい」をギター・ハーモニカ・カホン・ハンドベルを使って生演奏♪公演の時にみんなで歌いながら演奏できるように練習しています☆オリジナル曲も作っているのでご期待くださいー！



まったりサークル

「まったりサークル」では、これまでに お菓子作りやアクセサリー作り、メイク&ネイルアート、アロマなどまったりとは言いながらも、意外と活発に過ごしてきています。



テーマは楽しくリラックス！今後もゆったりまったりしながら楽しい企画をメンバーと一緒に計画していきたいと思っています。



美術サークル

「美術サークル」サークル名はパステルコメットと命名！3名のメンバーが所属し自分の得意なマンガづくりをするメンバーや、風景の写真を撮ってきてそれを絵で表現するメンバー、人物画を描くメンバーと、それぞれ個性を生かした作品づくりに取り組んでいます。完成が待ち遠しいですね！みなさんお楽しみに☆



メンバーより一言

師走に入り、世間では衆議院選挙があり慌ただしい年末となりますね。一方、紙風船ではクリスマス会も終え、年末まで残すところあと一つの公演となりました。忙しいですがうれしく思います。また、以前からなじみの深い作品「ポーちゃん」をリメイクすることにきまりあらたな2013年に向けての目標が出来ました。メンバー・アシスタント共に力あわせて頑張っていきたいです。 S. N

<メンバーの思い>

「楽しむ」

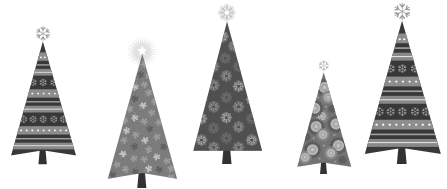
田中 良枝

先日母から、楽力（らくりょく）ってどんな意味か知ってる？と聞かれました。ちょっと考えましたが、よくわからなかったのでパソコンで調べてみました。その意味は、学習 創造 仕事などの活動を楽しむことのできる能力と書いてありました。

わたしは、今まで人形劇を続けてきて思うことがあります。それは、みんながいつも一生懸命取り組んでいることです。そういった事が、励みにもなります。そして、観に来てくれている人達が、笑顔になってくれると私たちも元気になれます。公演が終了した時には、お客さんたちの拍手をもらい私も笑顔になります。

時々悩むこともあります。仲間みんなと話しているうちに、何だか忘れてしまったりもします。でも、やっぱり自分で考えて納得します。

これからもいろいろあると思いますが、楽しむことのできる力があれば、きっと楽に過ごせる気がします。



<協力者の思い>

「笑顔」

アシスタント 西川 嘉奈子

紙風船の人達といろいろな御縁があり、みなさんと出会え、とても嬉しく思っています。紙風船には水・土の週2回来ており、その他の日には訪問介護の仕事を行っています。訪問時間は介護認定により決まり、30分または1時間利用している人が多いです。訪問先の自宅へ伺い、一般状態を観察し、医療的ケア（注射や点滴、痰の吸引、胃ろう）や排せつ面などの介助や指導、低栄養や運動機能の低下を防ぐアドバイスやリハビリ、床ずれ防止の工夫や指導、内服薬のセットと確認など、その人に応じた看護をしています。少しでも異常があれば、速やかに医師に連絡し対処します。そして医師、ホームヘルパー、ケアマネジャーなど他職種の方との連携も重要となります。利用者さんの中には終末期を迎えている人、難病をもった奥さんを介護する御主人さん、認知症をもった人など様々な人がみえます。みなさんがにこやかな表情を見せて下さったり、家族が献身的に介護している姿を見ると、私の方が力をもらって元気が出てきます。

紙風船ではユーモアのあるジョークを言い合ったり、笑い合ってる姿が多くあり、自然と笑顔になり大好きです。

出会うみなさんが笑顔で、安心して生活できるよう、力になりたいと思います。

これからも、よろしくお願ひします。

【公演だよ！】

- 第147回 2012年 9月27日(金) 社会福祉法人さくらん会 ヨナワールド
「ぼくたちにできること」
- 第148回 2012年10月 8日(日) ひまわりホールパペットフェスティバル
「かめさんのありがとう」
- 第149回 2012年11月 5日(月) 日・韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー
大韓名古屋教会にて 「ぼくたちにできること」
- 第150回 2012年11月18日(日) 東員町障がい児(者)を守る会
「ボンタとたっくん」 & 「かめさんのありがとう」
- 第151回 2012年11月25日(日) 日進市障がい者団体連絡会 クリスマス会
日進市中央福祉センターにて 「ボンタとたっくん」
- 第152回 2012年12月 8日(土) NPO法人エリア・バレット「かめさんのありがとう」
- 第153回 2012年12月20日(木) サポートセンターbeing瑞穂「ぼくたちにできること」

今回行ってきた公演の中には、言葉の壁を越えて韓国の方と人形劇で交流させていただいたり、様々な障がいのある方たちへのサポート等いろいろと勉強をさせていただく機会が多かったように感じます。みんなで韓国語を練習して挨拶に挑戦もしました。セリフのない「ボンタとたっくん」が目の不自由な方たちにきちんと伝わるか不安もありました。公演を終えてみて、手話通訳や要約筆記などみなさんのサ



ポート体制に支えられながらではありませんが、言葉が伝わらなくても、様々なハンディがあっても、私たちが伝えたい気持ちを持って公演することで、見る方たちに何か感じ取ってもらえることがあるんだという事を実感しました。「人形劇楽しかった!」「感激した!」といろいろな場所で温かいお言葉をいただき本当に嬉しかったです。またこれから、公演先でどんな出会いがあるかとても楽しみです。



今後の公演予定

- 2012年12月25日(火) 障害福祉サービス事業所株式会社 あ・らいぶ
「ぼくたちにできること」
- 2012年 2月23日(土) 西区障害者地域自立支援協議会主催
西区のふくしをもりあげ隊 みんなで一緒に楽しもうフェスティバル
西区役所講堂にて 「かめさんのありがとう」 13:10~



公演依頼募集中

紙風船では随時公演依頼を募集しています!

小学校、幼稚園、保育園、病院、福祉施設などいけるところには喜んでいきます☆
現在紙風船では、人形劇でたくさんの人を元気にしたい!という思いから、病院や福祉施設等でのボランティア公演も積極的に考えていきたいと思っています!
ぜひ機会がありましたら、紙風船までお問い合わせください!

思い出に守られて生きる

南 寿樹

「思い出に守られて生きる」という言葉を聞いたとき初めは「思い出にしがみつくなど、なんて後ろ向きな言葉だろう」という印象を持ち、「未来に向かって前向きに生きるべきではないか」と反論したくなった。

この言葉は先日行われた大府養護学校の文化祭での高等部の発表の中の言葉。その発表は例年ながら映画を取り入れた演劇であり、今年は「新・ピーター＝パンの冒険」であった。

「10年後の自分に手紙を書こう」という宿題をもらい、「どんな大人になっているんだろう…」と悩む男の子。「むしろ、大人になんかなりたくない」と言う男の子に対してピーター・パンが共に冒険をした後、現実の世界に戻る途中でメッセージを言う。

「これだけは、忘れないでほしい。人は思い出に守られて生きるってことを」「何かを大切にしたい思い出、何かに夢中になった思い出、人はその思い出に守られて生きるんだ」

劇を見終わって、「確かに自分もそうだった」と共感し、さわやかな気持ちになれた。ただ、この時自分は「思い出」という言葉を「自分のことを受け止めてくれる人がいて、自分がここにいることを周りの人が心から喜んでくれているという実感のある思い出」と置き換えた。

大府養護学校は、地元の学校でうまく人間関係を作ることができず、自分の思いを受け止められず、禁止語（だめ）と命令語（しろ）の嵐の中で「自分はだめな人間だ」という自己否定感を持っている子が多い。（つらいね）私は、その子たちの中にある深くて暗い不安を思うといつも胸がつかまる。その不安は、「見捨てられる恐怖」と言い換えることができるのではないか。高垣忠一郎（立命館大）は「人間にとって一番つらいことの一つは、見捨てられ【無視】されること。とりわけ、自分の身近な、親密な関係がほしい人々に見捨てられ、無視されることほどつらく恐ろしいことはない。」と書いている。（「生きることと自己肯定感」新日本出版社）「授業中歩き回る」「授業を妨害する」「指導を無視する」・・・教師にとって困った問題行動は「注意・関心を引き、関わってもらいたい」という自分の存在を認めてほしいというサインではないか。「困っているのはその子自身。問題行動を発達要求ととらえよう」と竹沢 清（日福大）は言う。ならば、教育は意図的にその子が安心でき活躍できる位置と役割を作り、認められる体験をたっぷりと用意すればよいのではないか。そこで身に付けた自信が自己肯定感を形成していくはずだ。

文化祭の舞台上で発表し終えたときの顔は、どの子も生き生きとしていた。問題行動の多かった健太（小4）も前日の練習では見事に演技発表をした。しかし当日は退院（※大府養護学校は小児医療センターへ通院している子どもたちが通っている）のため欠席になり「もう1日退院が伸びれば、みんなに見てもらえたのに…発表させてあげたかったね」と同僚は悔やんだ。そこには「見捨てられる恐怖」とは真逆の「しっかり受け止められ、認められる誇り」を持たせたいという熱い思いがあった。その自分を誇りに思えるような思い出が大きな支柱となり生きる元気、そして社会に巣立つ自立心へとつながると確信する。キャリア教育の真髄はズバリそこにある。

——高等部の劇の話に戻る。現実の世界に戻ったというか、夢から覚めた男の子が友だちに言う。

「未来の自分への手紙にはこんな風を書くよ。大切な思い出をいっぱいつくってきましたかって」

「10年後の自分を支えているのはきっと今の自分なんだ。大事なことは今を生きるってことだよ」

仲間と思い出をつくろう…「心に残らない日なんて1日だってなかった」と言えるように！

NPO愛実の会 寄付者名（順不同・敬称略）

2012年9月1日～2012年11月30日

★寄付金

大淵 哲也	南 寿樹	中森 照子	中森 由哉	山田シマ子
桐村 剛	深谷 節子	稲田 喜水	杉山 清美	中西加津子
渡辺 幸	堀尾 勇夫	岡本 恵子	金田 好美	尾島夫規子
木村 睦子	島 しづ子	野村 裕子	市原信太郎・誉子・麦穂	

日本キリスト教団信濃村教会 在日大韓基督教会名古屋教会女性会
愛知守山教会女性の会

★紙風船夢づくり

中森 照子	中森 由哉	小薄満寿美
-------	-------	-------

★物品寄付

塚田多佳子	鈴木 恭子	セカンドハーベスト名古屋
-------	-------	--------------

ご協力ありがとうございました。引き続きのご支援よろしくお願い致します。

寄付金のお願い 目標500万円

①移転改装費 借入返済 年600万×6年=3600万（2012～2017）

移転して3年目のクリスマスを迎えます。改装のために大きな初期投資をしましたが、広い空間の中でそれぞれのデイが特色を生かし楽しい生活を送ることができています。

②マンツーマン体制の充実を目指して

愛実の会の大きな特徴として、メンバー×アシスタントが1対1で向き合い、寄り添いながらの手厚いケアと充実した活動を目指し実践していることにあります。重度の障がいを持つ一人ひとりのメンバーを大切に、心の声を聴き共に歩いていくために必要と考えます。

③人形劇団紙風船の夢づくりのために

一昨年は、新作3作品を完成させ、今年度は福祉施設へのボランティアを含め20回を超える公演を行う予定です。そして更に来期は旧作品の「ポーちゃん」をリメイクすることになり、私たちの夢はどんどんと広がっています。応援をよろしくお願いします。

今後とも、引き続きご理解ご協力を是非お願い申し上げます

現在、会報の夏号・冬号送付時に寄付金振込用紙を同封させて頂いておりますが、振込用紙の通信欄に寄付先の項目が記載されなくなりましたのでご了承下さい。
「紙風船夢作り」へのご寄付に関しましては、お手数ですが通信欄にその旨を記入して頂きますようお願い致します。（記載がない場合「寄付金」として取り扱います。）
今後とも愛実の会に皆様の引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分(順不同・敬称略)

細田慶子 渡井秀雄 東中国キ障共 青本光子 吉谷尚之(複数回)
大島淳子 匿名有志 萩原寿美

ご協力ありがとうございました。

【ボランティアで協力いただいた方】

中山静雄様 石原成洋様
名古屋ワイズメンズクラブメネット会様(給食ボランティア)
ルーテル復活教会様(給食ボランティア)

ご協力ありがとうございました。



お知らせ

草創期から愛実の会の給食ボランティアとして関わって下さったメネット会様が、12月をもって給食ボランティアを終了することになりました。いつも笑顔で施設へ訪れ、美味しい給食を作ってくださいありがとうございました。また毎年素敵なおクリスマス会をプレゼントしてください本当に感謝の気持ちでいっぱいです。長い間ご支援ありがとうございました。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
E-mail info@aminokai.com
ホームページ http://www.aminokai.com

【NPO愛実の会】寄付金のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 101,000円 何口でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形制作費、公演活動に関する費用とする)

* なお「紙風船夢づくり」への寄付の場合は、通信備考欄へ紙風船夢づくりとご記入ください。記載がない場合は寄付金扱いとなります。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。ご利用下さい。